ぬくもり情報局

森林セラピー通信

森のたより

子育て中の皆さんにも町民のための森林セラピー

9月下旬から10月にかけて、22名の皆さんが「町民のための森林セラピー」を体験しました。

この体験では、セラピーの前後に血圧・脈拍・唾液アミラーゼの計測と、POMSと呼ばれるストレス軽減効果を測定する心理テストを行っています。

POMSでは、参加者の約8割の人が、ストレスが軽減されたという回答結果が得られました。

中でも、効果が大きく現れたのは、子育て中のお母さん。子ども成長はうれしいものですが、子育ては苦労もつきもの。普段、忙しく余裕がない人こそ、思い切って森林セラピーを体験してみませんか?

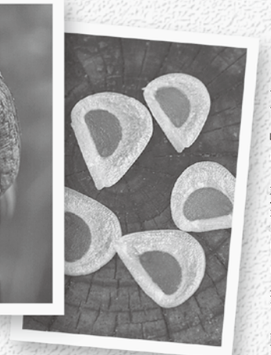
大自然を満喫

森林セラピー博学講座

植物は、子孫を効率的に広範囲に残すため、例えば、タンポポの綿毛のように、様々な工夫をしています。

「ウバユリ」は、果実の中に、薄く軽い種がたくさん入っています。種の周りには薄い"はね"がついていて、秋から冬にかけて、風に乗ってひらりと飛び散ります。茶色の実を見つけたら、振ってみてください。種の多さに驚きます。

ウバユリの実



ウバユリの種。半月状の黒い部分が種で、周りの白い部分がはね

■お問合せ
産業振興課(地域おこし協力隊)
電話76・2214

マニアック&おもしろ 飯南町 歴史ばなし

まんが日本昔ばなしの舞台「おとみーさん」

昔々、八神の龍神橋の上、神戸川と才谷川の合流場所「せんば淵」で、龍の娘が天に昇ろうと思い、雨の夜に雲が降りてくるのを見計らって飛び乗ろうとしました。

しかし、失敗ばかりで疲れ果ててしまい、しくしくと泣いていると、近くに住む吉兵衛じいさんが訳を聞き助けてあげました。元気を取り戻した娘は、無事に天に昇ることができました。

龍の娘は、お礼の印として吉兵衛さんに次の言葉を残したそうです。「ドーと太鼓が1つ鳴れば雨、ドドーと2つ鳴れば風、3つは雷、4つは大水、5つは悪い病気、6つは大騒動、7つは地震・山津波」

それからというもの、八神の人々は、太鼓の音を目安にして災難に備え、安心して暮らすことができたそうです。

今でも龍の娘を祀った祠(ほこら)があり、「おとみーさん」と呼ばれています。

詳しく聞くなら、志々公民館へ!

■お問合せ・情報提供
国道54号活性化アクションプラン推進協議会
電話76・2864

俳句

琴峯華俳句会 十月例会作品抄

大銀杏下は黄葉の大広間　安部　豊枝
栗むきて栗虫さんに悲鳴あげ　土池　博子
借景は三瓶三山大花野　石田シヅカ
バックミラーあふれてゐたる秋日差　八嶋　敏江
腰掛けるゆとり給り虫を聞く　垣内　良野
お月見の話をしつつ子と帰る　山碕智惠美
風揺らす黄色点々秋の草　佐々木康子
りんご畑はるかに光る寺の屋根　八嶋　昭男
母の切るりんごの匂ひふと胸に　森　征子

短歌

赤名短歌会 十月詠草

庭畑の空白に咲ける大輪の白きダリアに寄りて和みぬ　岩佐　恒子
皮葺(こうたけ)の夢にまで見る頃なるに山には神の使い棲みをり　清原　豊明
ハンザケを捕らえたからと子供等を集めて農良学習の先達しのびたり　中村三四二
昇りくる十五夜月を窓に貼り栗のかほりに飯炊き上がる　石田フクエ
跳べ走れ!はじける笑顔園児らの運動会は天に響けり　烏田　勝信
「茸トリク赤城山(あかじょうやま)デ死ス」とあり祖父の痕跡墓石に記さるる　澤田　勝登
君住きし西の彼方は茜色夕空あおぎてかの姿追う　吉川　暎子
大輪の菊の花より秋の野にひっそりと咲く名も知らぬ花　本間　麗子
樟脳(しょうのう)の匂いもそのまま思い出を軋(きし)むタンスにまた仕舞いけり　星野　敦子
一羽来てまた一羽来てひるがえり樹に鵲鴒(せきれい)の憩うもしばし　澤田久美子
困り果てて頭回らず時が経ち気付けば葬儀もみなしてもらい　門所　詠子

すこやかに　10月届出分

新生児	届出人	地区
和久利 しほ(ちゃん)	祥吾	彩戸
高橋 依照(いしょう)(ちゃん)	洋一	野萱
小田 将(しょう)(ちゃん)	南	上赤名
伊達 士恩(しおん)(ちゃん)	佑紀	真木

やすらかに　10月届出分

お名前		親族	地区
門所	正男様(75)	克彦	下赤名
原	康二様(83)	誠	角井
吾郷	泰三様(82)	浩	下赤名
安部	俊洋様(28)	精一	志津見

今月の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

帰りました
地いきのみんなに
元気よく

赤名小4年　石原(いしはら)　丈(じょう)さん
家族名　石原　洋司(ようじ)さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

今月の表紙

11月4日～5日の2日間、志津見のうぐいす茶屋周辺で開催された「紅葉祭」。赤、黄、みどりの鮮やかな色のもみじが来場者の目を楽しませていました。

平成16年度から始まったもみじの植樹は3千本を越え、2日間で、県内外から約150人が、自分が植えたもみじに肥料をやったり、写真を撮ったりしに訪れていました。